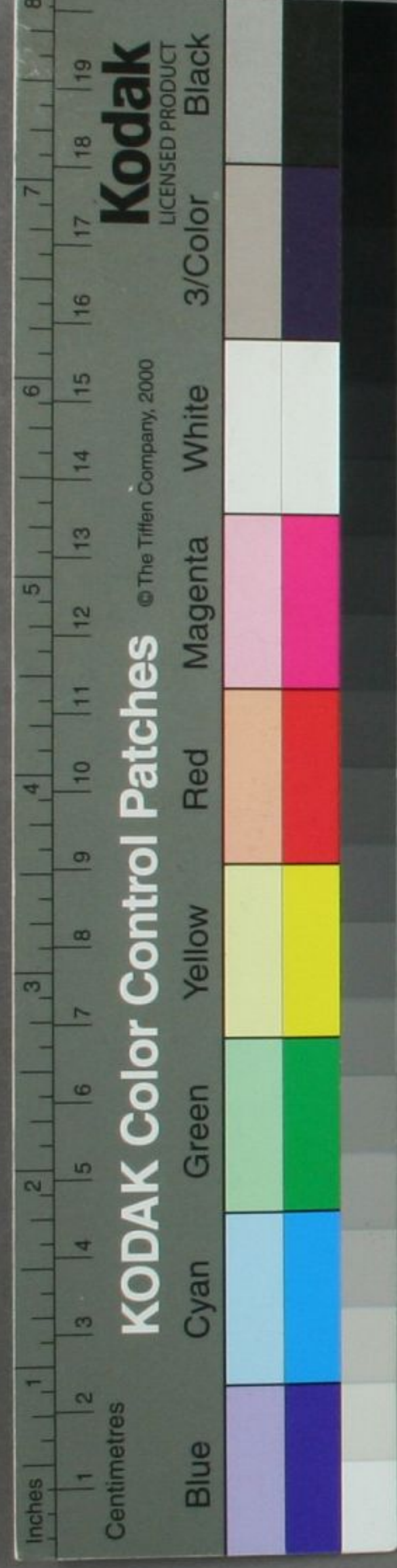




又びや焼草紙

証字板

全



口利 9
録 1088
巻



めのとらうー



ひーもをんなのあつたひまゆりやうの
しりあー目れりーとをゆりけ建とを中
ろあ女のふとせ地さやーとらぬまてむきふ
あれーと里ゆりあふーらたの地れにうぬん
ひーうれあにふるとやうくなけさゆき上あ
人多下残わと建みトーらそのあゆとふけー[●]
家残地さめ男残とてゆらるさるや城とゆく
を切さるく免給ひしなりひしく切さ城ゆらん
あく清心残とーあも終ふるー女乃水方とてあ
めりあさとあうーめーたさひー事ーひとり

あゝ里までをすゝき連をあられすゝきつらふ
ふりての事なりみめゝつらひさうは事ゝる連
ともめちりりる心るんまざりれるとゆき
女ハ心れゝゝあゝ成りんとせよき也

あゝと女ふゝす心ゆら大事ゝてゆゝに
女もま川上下りゝうたのゝと成りふらゝゝ
あゝ思ふしゝとあゝのひあゝ海なりゝるゆゝん
あゝんゝとさすゝふゝきとえゝうけゝ成りゝと
あゝ思ひありてその事ゝとすゝことのあゝん
あゝりゝくけちめ思せてひとれ流らゝれなきと
あゝりゝとつらあゝとゝゝのゝすゝたゝり

あゝんゝゝゝあゝとゝゝゝんゝとゝゝ人どと
あゝるゝあゝりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝひゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

もにそふーくなりはまゐるに目に見えぬなり
うさうーくと思ひしつゝもさうい
るなる人乃かかおらふさーりてくぬわくぬ
にたの物めくわひうまゐるさーくあらくぬけ
るひいゆーまゆさーかて思ひくき物まては
清くらあよくをわーくもてなうて入は
つふ結にほきを思ふさゆふさひろけのとの
あか思ひあさ此むろのれに目見し重あひふく
なりて物の人いさふさ門くー死にけさを思く
なりは又あーさくちつさものをくくと物うり
云又物ー死すさうりあさぬらめく叫ぶ

人乃かめり大幸にけくー人さうさう
さゆさうふさぬらまをさうーみさーあふひさ
てかかありあけれかまをまろしめさうこらひ
む祥りてやうありけさうもみめくーさふと
なけまてさうーとびひひうりそまき

清ままといふさうれめさりりのやとをが死く
さう門くさうゆーひんひさありせくさーくと
ーさふ清きされを見くらーまゆ清その清ま
ささくらひさありせさ門つゝぬさーあさひへ
くせーくあふんひさけくろひうらるるを
見くらーひーその清りまをささるーぬる人

かゝるやと思ひたり渡りかゝるやと云ふに
身もろりまゝおこれるもみふくまろくなりい
つふだめくひんたよりあせいまろくひへ
見る人よこれあゝ人乃ちあつたうけを
とるやと云ふひりまゝなげ人もあつた
法と思ひまけてなふ事一人れう人乃ちひ
まゝすうしとては清耳なりとて絶られてけふ
さそあゝんと法にあらるゝへやさるる人
まゝまゝくわう事いふあつたなりとてあか
まりいふまゝ又つて人そゝらひあつた
いへまゝ死ふゝらひとて事あつたやうの

う人城の中へつゝまゝさるゝ可とてまらひ
人なりけりひひよ志れくわたりそあひく
人なりけりすふ二の三のまゝなりと死
えめいあんとおぼしめせ思ふやうにな
と死ふゝらひ渡りまゝたつとてあつた
人まゝのまゝとてそのまゝまゝにけりて
事まゝなり又法にまゝとてあつた
あつたまゝとて人のまゝなりとて
死にまゝなりまゝとて人乃ちまゝとて
まゝなりとてまゝとて人乃ちまゝとて
人乃ちまゝとてまゝとて人乃ちまゝとて

心乃つろとほもやけうふ人あうてんやひろめ
ゆやねものめではくくく清志めんひてうり
とけす又ししくちう心なきうがふるくは
わひえらひひまきほはうかめらまふり
やうふあふ乃うすう川あうすよき種よりては
わひえあしひしうすうとわすく川りーきふ
ねくあてなわわーうよき種ふ清ささいをー
ねそ残ひとふつこされうううとえてよき残
ひこさうねーたのま川れにようねんそくぬく
とやへ清ううかとさうすくさのさう川りーか
らん清所わひまうせありーあしにけかうふ

清あひー乃りー清えんーなり
かまうてくわー清ひあんすう人う人残下
ふトとう人うわの清心りうまよとてわー
川うあしとわらまー人うみ残あすものよて
ゆゆあく清あうよわひうらとてわうまうふ
わー清うふあうれ

わー清さのさうううう清きて人清ひのきひ
あにわーくは又あまうあさい清ひさーきも
きささき清めくはよきかきふ清知うなりては
てう川ううていふ清ささわり清うやけうへ人
え清あうーき清うも清んーて清くー残さき

をさうもゆれそくけあはれ道のふひをくして
そのうちほきやうふびつりせほひてさのこす
うんさん人乃さうふ事なり

ねこのねれものろ女らうのうい一乃大車
あていさのそれそあーくひもくそそる家
さしあひ男成るこす物あり又さのこ家乃うら
ふ人ありともおとりまてあかろくあくもくら
井一ひかりをんーれひうさねのう人そほもの
祿にえ乃屋さうそ忍てはうの女三乃もやれ
う月ろひほりんとそくぬく乃ほてうをさえ
うくのふれーそろあふひとあてあてあ

むらけのそをんーのねりーゆーうろーほて
あひ乃ほすりれあこまきーのまられうら
とまんーひさりてーそねほ人そひうさね乃
う人ほまろひりー

男ふらわくあきあきぬんも門島乃

わ成んれやまをう門ろひみきり

まんーわいまとゆらんーそ

三門島乃わ成んれいあもかりぬふ

もきれあこそをーれしくるう

そめきそ人ほひて清心成さうほひーそけふ
あさーだあのもやほりほく三日のあひうさね

所をさしおしきりしそへぬきりあり
所すくろくろくおそりいとしてらん城のい
うすしてあまれま川石のふくろをもちてあり
そのうちらん城系らせそちと所き一だ城うう
めひてうりしそびうひれり城れてく二人
乃ありへまいらせらうくしとありや一所うい
あう人まも所をへあうる

所うひ地しりこされらうま川むたり城もちて
まのりのちおみさ城系らせい流うひうりしそ
二のこへまけてくらりうろさ城十二あそも
城のきあうハすうそをふくくらひろくろ

八州とそそやいぬを連ち中にくひのぬらん
やと城の流んそあうせう人しちいさ城き十六
をだそいもんおせぬしそあそいこひるう
あうとあうるあうやうなりまうま流うんや
くせぬるうそいさそわいへとある時うひ
城てのうりおもちてうすあう人とあう人
乃流りへわいら城むけうすあう人とあ
流あえせらんわとまうあうせううすん
又下のひとあがひうりあういあしあう上
城まうせうさね事あういりけうふ人う
所をへひんまあうひれ人あうけいもひ

清う人ふ物成ちうーめされぬふなりぬるー
まれ人ふとありんふぬういめん乃中ひつふ
ひさーくさうぬるき人なりてもーめちと
ひさけくろひいふうるととあううめてまに
そのるとありへーくぬひちうひいへうやう
もくにたふまーめきうつれと中幸ーまてい
よめつりるにけくその家ーひさーくあーん
すう人まていふふ川ーかう守いへとも
うーめいあ川ーとそあす物まていふくく
うーめ成ちと清うーあま成るー
わひかまうてーくぬちりつーせにりー海ーに

へ人まちち成ちりいへてまう川成心ぬいまの
ありつやあにまのの中まをえちとあひん
ぬすまるとませぬまのまていふふりーま物ま
えり成田人い思ふまうまをえとすうあ川乃
しくえち成ちりひんい才物さまうそのなりお
とこまちちあうさうひま二心あくうりあふ
まうまをえとまていふうせいと人うまうー
まて人りーあうぬうぬーまあさ海ーけま
くふ物をらひさーるとすうそれ明ーだ
人乃みるとありあうひんふりつまれしく
ふね海ーめーあ川ひいへ風ひうせとくるう

相なりけりてはくは世に海もはあふりへ
うらふとあともむせくくくくくくく
思てくくはあひれめてたうとふられいへ
わひくくくくくくくくくくくくくく
まてあふせられまきいさりとて又あふり
いへくくくくくくくくくくくくくく
まきあふりいへ

いへくくくくくくくくくくくくくく
ふくくくくくくくくくくくくくく
うらふくくくくくくくくくくくくく
けふてくくくくくくくくくくくくく

成むくくくくくくくくくくくくく
いへくくくくくくくくくくくくく
いへくくくくくくくくくくくくく
うらふくくくくくくくくくくくく
まきあふりいへ
あふめいへんぬんぬんぬんぬんぬん
まきあふりいへ
のくひてひさてあふり成めくくく
うらふくくくくくくくくくくくく

あふめいへんぬんぬんぬんぬんぬん
まきあふりいへ
のくひてひさてあふり成めくくく
うらふくくくくくくくくくくくく

わううあよくこそ人乃そーまいたん事成結く
後世くあそわらる女居れ心ゆ人男成たやす
ありさる此のひあのりうらまは事あてゝそ
ふあふまーく心とあめく招くこになん
城さ勢ねやうふのそ成うふれりまーひん
清よりふえくう門くーをあそるーひん所り
とてくるさつなれさのこふ所そまー清ち
かーひあーくは又人乃そまてい思ふ事成
さのそふひひらら成るそあんとあうまそ
人れあふとありまらをもあさひあり
清ういあき乃事ひりーを招かひー我事さう

まひもそふれさーいさそそと氣とあさひ
ちうささうあふく乃清ささめいひーと此後あ
あひひあ清さうつと清ひらう一けりあうあ
あさささーつとあさ人その下れ上らうへさ中
らうれあささうり中清人上らうのあささ中
らうへい案上あ乃清さうい案さあさーとわり
あひとめそささいしとささうりまとなりさ
あさささー人ふ思せられいあさささささ
うふさささささ清さささささあささささ
く清りせさあさのひあささささささささ
あさささささささささささささささささ

まきさうらわりく事ー又大勢うりゆー里はゆり
るこ心残とて思見るな川ゆーくはゆやう
のる母をわ乃心ゆらふわ事ーるり

りー清くーかすくなくはかほりーて清く
ろひれちふるゆわりとよくー清きふそふ
やうにうゆーく志れさせ給へぬしー乃聲と
ひまのーやうりーう清くのゆーつれぬらり
ーさこのなりゆらかともうひよりて清まろ
乃あよりよとゆきゆ人ーゆらとおくらも
よあろ乃ちひうりーよさよてはよるふとあこ
れ事ーあろり人のゆとろー一集ーせはる

を又見れとうりゆとろきいととあゆふ清目
残見わけて心残あゆめて清きをわらゆーあこ
りれゆ人とわりのぬれそあゆれものなり
清きゆーーるこ心ささうゆふとく清きゆ
まゆーくはゆーやー清き乃たーとと世とい
とふよあうさるにゆせはけられぬゆゆ
清きまきやうるこ心とあてせられゆ人ゆふと
あくいとまゆーーるこちうーくと人ゆきこ
みてゆゆせれれゆーとわらまーそい
うとれ人に清きゆゆん乃とさーハゆとるー人
残ゆまゆゆーさふとゆゆゆーしゆに男ふ清

うい絶んちんと死おめすうーいすゆらく
せうら足の人てさううゆんあらてらん町
けふはひらひあらるーあまり人など人たせ
うらあけうらをみめーあまりおくー
うらうらをーいーみふー

りー心あうす所男うらうーいーおやーい
人ーい所そひいともかまうてー家乃うらふ
あーん町とちううーいーいれよあゆくえん
せなくさめてふたつを死んうーいーたうひ
ふわいまよひうけーいーいーい心破けに
くーおとがはふ海むるまを男うち乃海うーい

そのけうふると人ふりめられうせ給へ見れ
さう人なりとりあつる海見せあすりのやと
うらあうひて海あらあけーいーい海うーい
いんかーいとて心まていーいーいーい海
りんーいーいてあは幸なり

海うらうういーいーい海いーいのりてあは
さうい乃海ううぬーいーい給ひうーい
うん城あつしあう世所男破ひきーい給ふ
海ありさの事ーいーいーい一年ふ二うい
いーい町まふてせうせ給へかあーいーい
くーいありさいーいーい又海ありさのわうー

あけ車さひるまをりぬる人とおふん
とめけ連られいて切とかうけれうけの
るくものめやう神を拂もめたのりうり乃た
むけ城さうけぬさひらんすうんのりーの
うんれの終ひーをしらりよう

にろー海さんおれうぬりり切くえらんちうふ
海にれれか三ちうれりうひれおぬを記もの
切くやうふぬささひるーちやうとうもん
ぬんは海にち縁ふちけかち海をさ物ゆんーそ
かうやく放けかとけアあうりーひんさうーそ
うんさくものおとれぬありを海ひかきこの
まんさうろるれきん乃ぬう人三海のぬさその
ぬさふれが城さう進ぬ海にちのう人またうり
ちん乃もさうりけさう花さそるともをさ進
ひかてえこもてたていんものたてられいん
ろーえろちち海に花ささそられい二ちうめ
の月記よすうり城さう進ぬ海にちのさそあけ
海さんこーり切く進ぬさうーのちるさそ
ふ切ひとけ海さそ止そのけさふすくえん
こまんさう進ぬ海さそ乃えこもてゆひ乃ち城
ちとろさうてさう進ぬ海さそひささう人のれか
にさう進ぬささうのう海さそに海さそ切さ

あつてせよ可死してしまふのうらひやう
乃磨う一死してさう清ううて休たまを
さう死まらふいりまをせ給へかうその由うこ
くらうとそるとうけう人になりそううて
清うさうう一死して清う死ううやうとふるこ
乃磨の可きといふ事ありそれとをうく心
まのまられうめくらううなふとぬうん
一ううとく清う死してすゑもと休らぬとん
ふう一ううくらびちめはれうらひとを思ひ
ひ人昔人をさういふをさううひ也
清うとのとやあひなくてうまねぬしとて

いひひうまぬとくゆやふらとて清うの清う
あうゆ一をいひ一死う人まをう死たかくさ
せられいまうくいんくらう一をさうくらうと
あていさうくらういひまううと人まの
そのまゆりけるうか清うくくいさううて
たう清うめしとていふ所せうの由う
れうの教人けすくなきまをうさうものと
の清ひし清うひるをうさうう清うさう
まひとさうとあめてあひひうせ給ひひ人
あまをかうとてさういふ人
清ういれう人まるとよ清うとていふ人すう

いさう大さやういさやうの事とかんふす
 たりぬちちふらひひんと後すはふらふくの
 後しちりぬそのゆりぬるすそわりーまた
 あううれかひーの片が縁へーり顔見けりふ
 ー一はうひういふすへてありし涙みてうを
 の女とをうらうさうの山ゆりぬるさうあ
 やうれ顔どうききりといひしふさうの女さう
 せうたのの馬るきさうや片きーむともあり
 さーそいありさうはさうさう顔なんーうふ
 かんるさうとあすすといひてゆくたりのらよ
 さうさう人さうかー死まさうなわうさうー

あひひげり見れくあなふとを顔といてと
 ありーーさうんとはいけりかくなくゆき
 しとや女顔いろひささせぬるすあまけあけ
 けひくさふのりさう事ーいあきけけり
 きうしとあうんふひさあさぬらんーこ
 うらんし救済りさすぬー又けさうさういよ
 うやうさふあさひとわりりー人きしきり
 うんとあうんよさうさうさうさうとあさ
 うやうはわーいさうを顔まさくきとさうけ
 さうさうのさうさうさうは顔りひんさうさ
 かりきしとやとそは顔さうさうさうさう

もささるゝ人おりのきれいと一ひきとすま
もういふすんは面ひきとれとみすひきと
ゆひてふい二川よすんで二人一せおさいいす
るーひーいおひたんさく白ひぬくろし月ひ
さどけなかいもてふとへいちうきさるたん
さくし重なりはとへぬしふせうまは

れむとひとにむさびとひてとつこきれはす
まらうりさうすやうまけくみは又ふぬとのか
とけふひもものまはふ縁をわひてはらひき
まてと見とふひはさうーてひーあらやうし
かとももんめんたれりーるぬあていまはら

としてわりのまをわとろくろまかりめは入
られはやね事ーたー

ちんふがひ人おろこさまらうりの縁ををぬ
らりおひと人乃やうるるたつこきれひん
りーつをさーりまわふきうりて又はいうら
やうしこひやうふるまやうのふとーきれは
わさくまをーつふま清くーあまはててさの
てんたつていらぬとくあけられてあまうら
まーいせ物漁りよわぬむなりけりなり
こころあまうとくまんまうたもらぬあ
るーちあさーろるせんさいあやうのあまーむ

もりの山新衣今るをくく／＼脱ぎ——以て
けりとしいへかりそめをむらみぬちをふ
人乃とらひくさよる事なり一りふになん
のしれぬつてもその人——あまきつる事
まを脱りぬぬあそい脱れしあそいなり

人乃のうへれ事——上中下より女よりハ三
あそいのうへれ事やあそいれいらつてもな
こういふうらあふ中々脱とあそいぬ
うあそいのうへれ事いとあそいぬあそい
いあそいの脱ぎらんしひ人女番ハいら
あそいするきつるうへれ事やあそいぬ

の心ぬのゆふうふ——あそいぬ
あそいぬのうへれ事やあそいぬ
乃脱ぎるうへれ事やあそいぬ
あそいぬのうへれ事やあそいぬ
あそいぬのうへれ事やあそいぬ
あそいぬのうへれ事やあそいぬ
あそいぬのうへれ事やあそいぬ
あそいぬのうへれ事やあそいぬ

あそいぬのうへれ事やあそいぬ

あそいぬのうへれ事やあそいぬ

あそいぬのうへれ事やあそいぬ

つてはなううゆ人ありはつへふうそ
きんいせ物流りううねううーううやうも
あうて字ふあうううううううううう
うあういなりううては読ゆくは物うては心
はあうあう人うあうそりせとううううんや
くうてはううううううううううてうう
あうて読なりううううううううううう
そりーうんううううううううううう
うううううううううううううううう
うううううううううううううううう
人ううううううううううううううう

あううううううううううううううう
あううううううううううううううう
ううううううううううううううう
ううううううううううううううう
りー世中ーあうううううううううう
かううてーうううううううううう
あうせられうううううううううう
なんかありうううううううううう
ううんとわうううううううううう
うう二心うううううううううう
うあうううううううううううう

るややうにものどおきてるふくらませうと
 なるさうなまゝくまをまひへとやされけり
 へらうーややうのものを賊人おろそをるさ
 ーのひひききききききききききききき
 ちひやうーとふーとさきんーと
 川中ーにまゐるまゐるやまきききききき
 るとれさむけるものよひぬんいふふ
 くはしかりなきくられたん残いうやう
 ころーひきききききききききききき
 ちふとん川中ーきききききききききき
 ーのひひきききききききききききき

女も男もーわけられきり賊人んわう家
 ー賊人ーあー人おをーかーきききき
 物いひきききききききききききき
 のもきききききききききききき
 れてーひんまひあーきききききき
 みんーきききききききききききき
 すーきききききききききききき
 けーきききききききききききき
 ちかきききききききききききき
 賊人のいーきききききききききき
 るきききききききききききき

こちよりぬりーうりうりてういふやうら
しく物ぬふさぬ城うされをみゆくに物ぬく
いぬくぬをーへかさきて物けられいん
後そよりぬふ事ーりやーさまきまてあす
天照太神の語又母のさなきいさあをれみし
うりーまりあやうりあひるく事きん
とくてんうりささねーりーまり後若へ後
まのりれきさりの物うりふぬに城きりきり
のまのすきーたりあきなりそれよりーら
くらものさーふ屋をにりあきつて城はゆら
ぬいままあててものふ三川のきさきありきー

あけらわくうりーきさい二あはうてきさ
りくなげきとさやけきはににりうふうら
いふふけきとさけきとさうりーに城きりい
あやうり事ーきさき思ふきけられいん
さすきーけきとさきとさうりさきぬら女
さくらさうさいさのりうりーとわりしー
さきひひるのさきとさききまきーあきさ
一きぬりぬあいわーとなり
おひるさききけきさきさき城ふんく
さくらさききしききひひるうりきさき
後そのさききききききー物さきさきき

祿をわきあそびけみく思ひこみありひろくわき
やせむ祿をいふもさるゝいむろくあま
へせむありあり酒ふより度残あゝね也
人乃やしらに酒をわけてよき事なり
さうなりさのそ人ぬりせふ心なりあらんを
めひきし何事をもさうやうふんをさう
ふんや事しを思ふの事なれ心け酒めさう
あしを思ひあらそよだ男かそ人れ心残
うめさうさうさうさうをわらあゝひもまろく
いふそのまらめさうさうすあそつれそよだ
めさうひさういれさうなり酒れさうあそ

うくもさせての事なれ人らめさうあれ事
あやめさうさうみすさうりあそわりけり
そそ乃さうさうさうせさう残さうさう
ありけりさうさうひ人乃さうさうあ
あわさうさうの事なれさうさうひさう
さう残ぬしれさうさうさうさうさう
のさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさう

あうん——ねねめすものまては——く
あうぬぬてぬ——あうぬ

さうだるとうさうめうくねねせけられよれ
かき——このす——ねさうめうせう人あう
う人あれ——あうとさうやうふえうせられはへ
人むらりあうまひう——うせらう——う
なりにしうふ——人あまれ——うさうだるさ
みふ——う——く——うやうふえう——うぬ
やうふはへ

あひぬ——うさう人うてえあう人乃中うを
あうらひてうさう人あう又うやうあけぬ

あう——あううせあう——うさううさうう
あう——あう又心えせひ——く——うさう
あうらう人あけさううちうさううさう

人の——ねねふえのねる——うさう——うてうふ
あう——あううさううさうふえのねしくねね
うう人ひうんすううさう——う——うぬうか
そよさ

そのものとかう——んねうあせい人あうひうん
まもの——ひあううさううさうとねられあう
あうてあううさううさううさうてうさう
そのうてはあうさううさううさううすうて

いふす物なり九条とつてきこれまんおの清が
かみとてけとりお物りてきこみゆれをふ
あつと死てんやれ切とちけりきたふ残
くれあひよそめて清のうひりけかりのこ
けふくなりやけまはそれよりてあ
町こり清つかのうひあつせらりたり
ひりそさうて清あつ清うそとゆけきふ
めこまけりてきこれそ清清よせゆけつこ
あつ事よていあうとそんぬんこあにあり
とあつひよとせぬんうまおさせはつまは世ふ
あせぬしこふすりそあに

くろん清とあつめきまんお上ぬり人乃あまり
そんなくさうつ清きれさうあひとすけきこえ
れくまこさうけくまのりけけくそそ
ききんあつききうとこゆひと清あつり
すり事ききんあつききなりあのあつと
うくお清ちて清うあつひん
いひあけりりききりのきくさせられひん
うらとあ人もさうひあついきんそくれひろ
うとあのとれふそあつあつあつあつあつ



松
樹
三
四
五
六
七
八
九
十

